

令和元年9月26日

令和元年度第4回アーバンデザインセミナー実績報告書

(1) 開催日時

令和元年9月13日(金) 18時30分～20時

参加人数：16名

(2) テーマ

SDGsから考える食と農とまち

(3) 話題提供者

吉川成美(県立広島大学大学院経営管理研究科 准教授)

(4) 話題の概要

● 提携(TEIKEI)について

➤ 日本有機農業研究会(1971年)

「提携」は「産消提携」、「生消提携」とも呼ばれ、単なる「商品」の産地直送や売り買いではなく、人と人との友好的つながり(有機的な人間関係)を築くなかで進める。

➤ 産消(生産者と消費者)提携の主な特徴

① 特定産地や生産者と消費者の長期的な関係

② 予約購入(1週間～2週間前)

③ 事前作付け契約や野菜セットボックス

④ 生産原価保障方式と所得保証

⑤ 顔の見える関係

配送、価格などの話し合い、生産者と消費者間の交流、レクリエーションなど

➤ 産消提携運動とは、生産者と消費者の直接的な提携組織により地域の小規模農家や有機栽培の農産物を直接流通させる相互扶助的なシステム。

● 高島有機農業研究会 たかはた共生塾

➤ 公害問題が吹き荒れた1970年代の高島の若者たち38名が一楽照雄と共に立ち上がり形成

➤ 美しいと思える風景が作れるか?

農業が自然生態系に配慮し、循環を形成するシステムとなれば、それはかけがえのない人間と自然の芸術となる。

- 高島はジブリの舞台
- **IFORM (アイフォーム)**
 - **International Federation of Organic Agriculture Movements**
国際有機農業運動連盟
 - 1972年にパリ郊外で設立され、世界中で有機農業の普及に努めてきた会員組織（国際 NGO）。
 - **IFORM Organic 3.0**
オーガニックは、パイオニアの時代である 1.0 の時代、基準や規制システムの生まれた 1970 年代以降の 2.0 の時代を経て、現在、メインストリームへ向かう 3.0 の時代に入っている。
- **持続可能な開発目標 (SDGs)**
 - 2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016年から 2030年までの国際目標。
 - MDGs が政府向けだったのに対し、SDGs は一般向け。
- **アマルティア・センについて**
 - アジアで初めてノーベル経済学賞を受賞
 - 経済至上主義から人間中心の政策へ転換
- **TEEB**
 - **The Economics of Ecosystem and Biodiversity**
生態系と生物多様性の経済学
 - すべての人々が生物多様性と生態系サービスの価値を認識し、自らの意思決定や行動に反映させる社会を目指し、これらの価値を経済的に可視化することの有効性を重視する経済学。
- 「生き物認証」の可能性
 - 日本発の、生き物を軸に評価することで生産物の安全性を認証するシステム。
- **GRAB コミュニティ**
 - GRAB はマレーシアで設立され、現在シンガポールに本社を置くアジア発の

ライドシェアサービス企業。アジアの高齢化市場にも対応

- ▶ マレーシア、シンガポール、フィリピン、タイ、ベトナム、インドネシア、ミャンマー、カンボジアにおいて展開。
- ▶ 車やバイク、タクシーサービス、食のデリバリーを含むあらゆる配送サービス、決済サービスを提供。

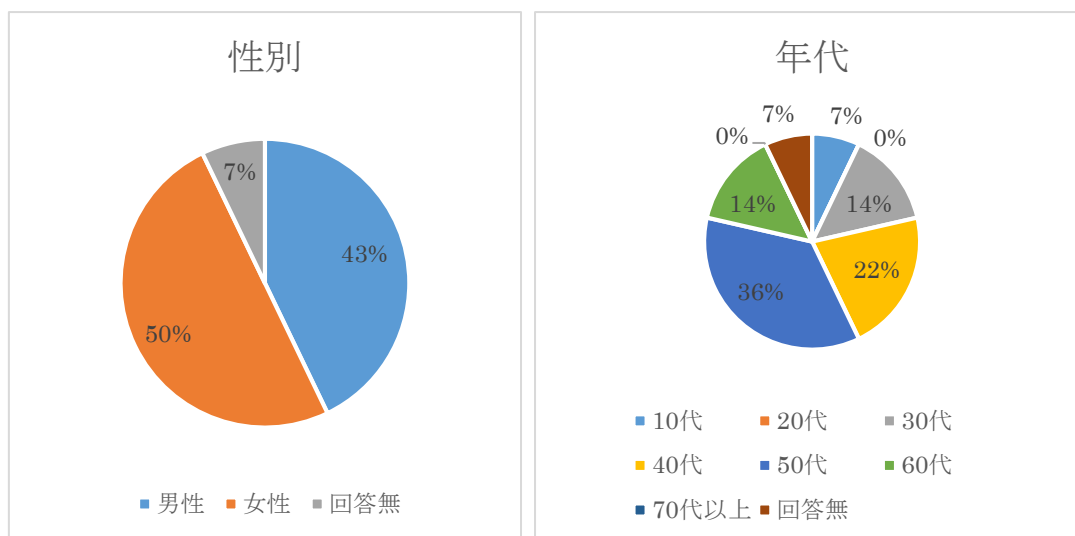
(5) まとめ

今回の講義では、SDGsの観点から食とまちについて学んだ。日本のみでなくアジア各国の事例を通して、広い視座を得た。SDGsは各国が共に取り組むべき課題なので、各国の歴史や現状を参照しながら歩むことは重要だと考えられる。広く見渡し、そのうえで自らのまちに目を向けるグローバル&ローカルな眼差しが期待される。

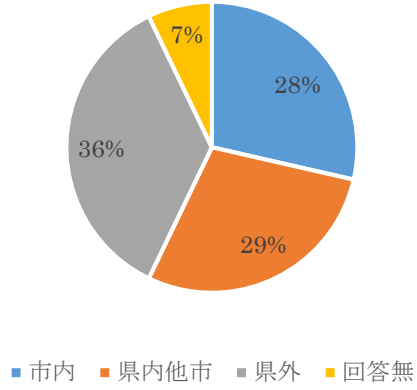
(6) アンケートまとめ

① 参加者属性

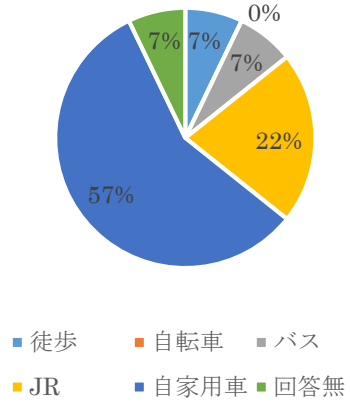
参加者16名のうち、アンケートに回答いただいた方は14名、回答率は88%だった。



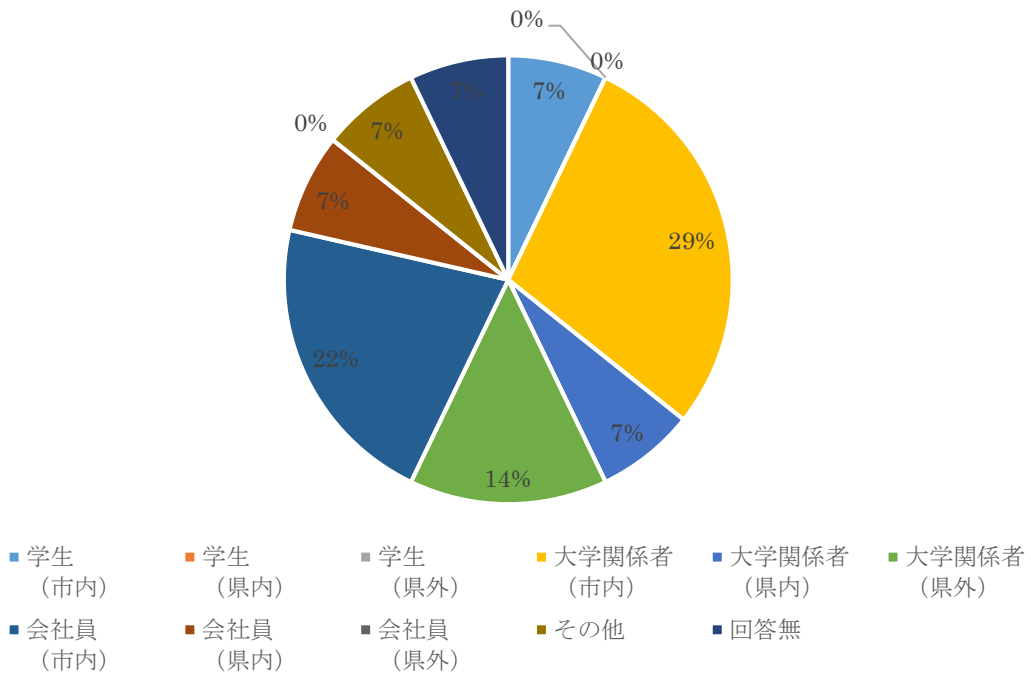
住所



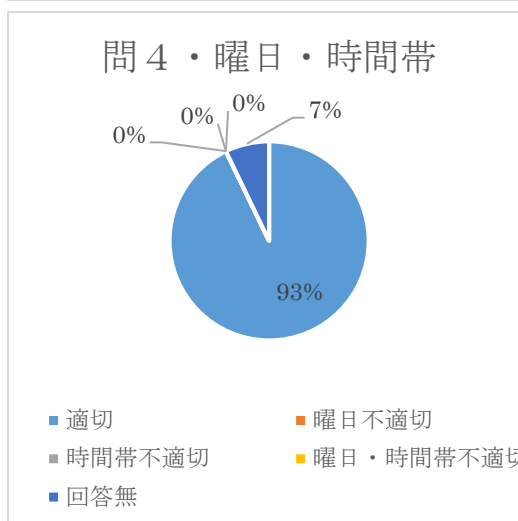
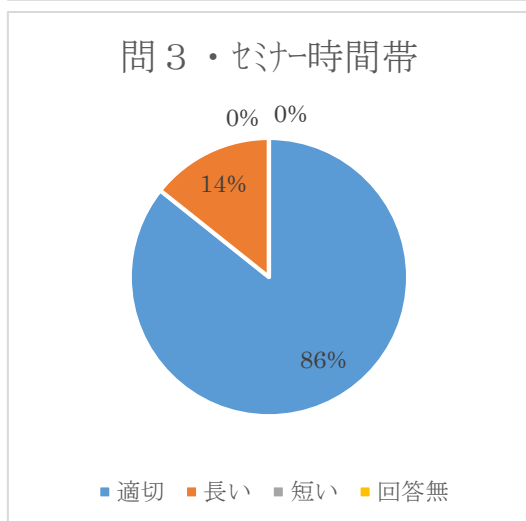
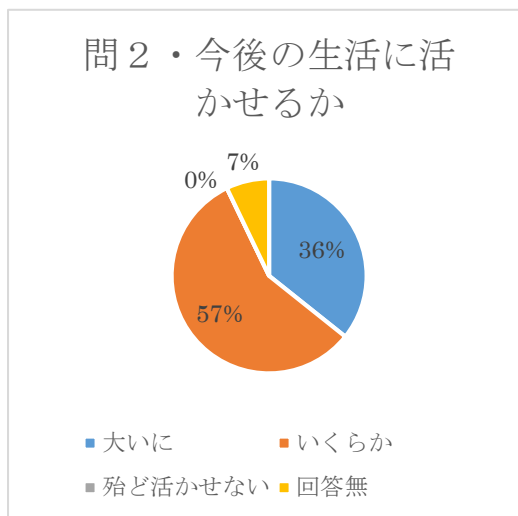
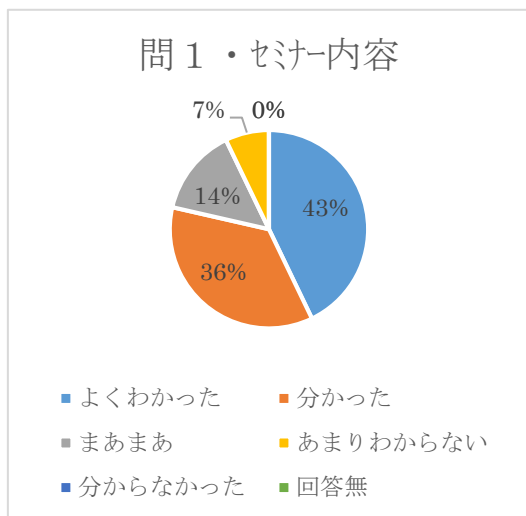
交通手段



職業



② 内容について



【自由記入欄回答】

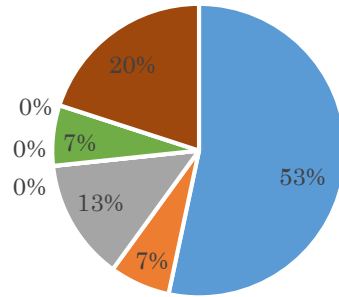
問3. 時間はどうでしたか。

・なし

問4. 開催曜日、開催時間は適切でしたか。

・なし

問5・参加動機



- テーマに関心
- UDCに関心
- まちづくりに関心
- UDCBKに関心
- 友人に誘われ
- 面白そう
- その他
- 回答無

【自由記入欄回答】

問5. 今回参加した動機についてお聞かせください。それぞれに関心のあるテーマについて御自由に記載ください。

- ・SDGs に関すること（30代男性）
- ・“農産物を売らない提携”という逆転の発想が素晴らしい（50代男性）

【自由記入欄回答】

問6. 今回、印象に残ったこととその理由をお聞かせください。

- ・とても新鮮で刺激的なお話でした。ありがとうございます（性別・年代不明）
- ・Teikei、農業を振興するための一つの手法になり得るのではないかと、草津の農家でも可能性があるように思えた（40代男性）
- ・時給が20年間で日本だけ下がっているというのに驚いた（10代女性）
- ・提携可能な地域づくりの各国の取組と、そのコンセプトやアイデアが日本発的のものが多く、高く評価されていることが印象に残った（50代男性）
- ・地域社会の就業をつくり出す（50代男性）